

国内に流通する主なヒト用抗菌性物質の例

分類名	抗菌性物質名
にランク付けされるもの	
14及び15員環構造を有するマクロライド系	アジスロマイシン、クラリスロマイシン、ロキシスロマイシン
オキサゾリジノン系	リネゾリド
カナマイシン系	アルベカシン
カルバペネム系	イミペネム / シラスタチンナトリウム、ドリペネム、パニペネム / ベタミプロン、ピアペネム、メロペネム
グリコペプチド系	テイコプラニン、バンコマイシン
ケトライド系	テリスロマイシン
抗結核薬	イソニアジド、エチオナミド、塩酸エタンブトール、エンピオマイシン、グラミシジンS、サイクロセリン、ピラジナミド、リファンピシン
ストレプトグラミン系	キヌプリスチン/ダルフォプリスチン
第3世代(オキサ型を含む。)及び第4世代セフェム系*	セフェピム、セフォジジム、セフォゾプラン、セフォタキシム、セフォテタン、セフォペラゾン、セフカベンピボキシル、セフジトレンピボキシル、セフスロジン、セフトラジジム、セフチゾキシム、セフチブテン、セフテラムピボキシル、セフトリアキソン、セフピラミド、セフピロム、セフペラゾン、セフポドキシム、セフメノキシム、ラタモキセフ
フルオロキノロン系	エノキサシン、オフロキサシン、ガチフロキサシン、シプロフロキサシン、スパルフロキサシン、トスフロキサシン、ノルフロキサシン、パズフロキサシン、プルリフロキサシン、フレロキサシン、レボフロキサシン、ロメフロキサシン
ムピロシン	ムピロシン
深刻な疾病の原因菌に対して抗菌活性を有する新しい抗菌性物質	
にランク付けされるもの	
-ラクタマーゼ阻害薬が配合されたもの	タゾバクタム / ピペラシリン、クラブラン酸 / アモキシシリン、スルバクタム / アンピシリン、スルバクタム / セフォペラゾン、トシル酸スルタミシリン
カナマイシン系の耐性菌抵抗性	アミカシン、ジベカシン、トブラマイシン
ゲンタマイシン・シソマイシン系	イセパマイシン、ゲンタマイシン、シソマイシン、ネチルマイシン、マイクロマイシン
ストレプトマイシン系	ストレプトマイシン
スルホンアミド系のトリメトプリムが配合されたもの	スルファメトキサゾール / トリメトプリム

分類名	抗菌性物質名
第2世代セフェム系(オキサ型を含む。)	セファクロル、セファトリジン、セファドロキシル、セファマンドール、セファレキシン、セフィキシム、セフェタメトピボキシル、セフォチアム、セフジニル、セフミノクス、セフメタゾール、セフラジン、セフロキサジン、セフロキシム、フロモキセフ
テトラサイクリン系の活性の持続性を強化したもの	ドキシサイクリン、ミノサイクリン
ペニシリン系の天然型	ペニシリンG(ベンジルペニシリン)
ペニシリン系の広域型	アスポキシシリン、アモキシシリン、アンピシリン、シクラシリン、スルベニシリン、タランピシリン、チカルシリン、バカンピシリン、ピブメシリナム、ピペラシリン、レナンピシリン
ベネム系	ファロベネム
ホスホマイシン	ホスホマイシン
モノバクタム系	アズトレオナム、カルモナム
リンコマイシン系	クリンダマイシン、リンコマイシン
14及び15員環構造を有するマクロライド系	エリスロマイシン
にランク付けされるもの	
16員環構造を有するマクロライド系	キサマイシン、ジョキサマイシン、スピラマイシン、ミデカマイシン、ロキサマイシン
アストロマイシン系	アストロマイシン
カナマイシン系の天然型	カナマイシン、ベカナマイシン
スペクチノマイシン系	スペクチノマイシン
フラジオマイシン系	フラジオマイシン(ネオマイシン)、リボスタマイシン
オールドキノロン系	シノキサシン、ナリジクス酸、ピペミド酸、ピロミド酸
クロラムフェニコール系	クロラムフェニコール、チアンフェニコール
スルホンアミド系	サラゾスルファピリジン、スルファジアジン、スルファジメトキシム、スルファメチゾール、スルファメトキサゾール、スルファモノメトキシム、スルフイソキサゾール、スルフイソミジン
第1世代セフェム系	セファゾリン、セファピリン、セファロチン、セフテゾール
テトラサイクリン系の天然型	オキシテトラサイクリン、テトラサイクリン、デメチルクロルテトラサイクリン
フシジン酸	フシジン酸
ペニシリン系のペニシリナーゼ抵抗性を有するもの	オキサシリン、クロキサシリン、ジクロキサシリン、ナフシリン、メチシリン
ペニシリン系の耐酸性を有するもの	フェネチシリン
ポリペプチド系	コリスチン、バシトラシン、ポリミキシンB

\* 代表的なグラム陰性菌に対する抗菌活性を基にセフェム系抗菌性物質を分類。このうち、緑膿菌及びグラム陽性菌に対して抗菌活性を有するセフェム系を第4世代とした。